

- [機械](#) [ロボット](#) [ICT](#) [エレクトロニクス](#) [自動車・輸送機](#) [化学・金属・繊維](#) [環境・エネルギー](#) [医療・健康・食品](#) [建設・住宅・生活](#)
[商社・流通・サービス](#) [政治・経済](#) [金融・商況](#) [地域経済](#) [中小・ベンチャー](#) [科学技術・大学](#) [人物](#) [オピニオン](#) [トピックス](#) [新製品](#) [その他](#)
[特集・広告](#) [企業リリース](#) [人事・機構改革](#) [マイニュース](#) [マイクリップ](#) [電子版オリジナル連載・特集](#)

トップ > 建設・住宅・生活ニュース > 記事詳細

小 中 大

[建設・住宅・生活]

大阪北部地震／中央砕石、土のう提供で被災地支える

[ツイート](#) [シェア0](#) [LINEで送る](#)

(2018/7/4 05:00)

■ 10kgで統一 女性・高齢者に配慮

豪雨対策製品が地震後に活躍。中央砕石（大阪府高槻市、山本和成社長、072・687・0076）が手がけるゲリラ豪雨対策用に土のうを保管する基地「土のうステーション」が、6月18日に発生した大阪北部地震の高槻市などの被災現場で使われている。本来、浸水防止用の土のうを、地震で屋根が壊れた家で雨漏りを防ぐためにかけたブルーシートが風で飛ばないように、重しの役目を果たす。（大阪・林武志）



中央砕石が高槻市内に設置する「土のうステーション」



中央砕石は砕石・砕砂のほか、防災用の土のうが主な事業。同社で土のうを担当するプラス事業部の谷吉浩部長は「地方自治体が水害対策向け土のうを用意し、それを住民に提供するスタイルは全国でほぼ同じ。ただ運用方法はさまざま」と話す。土のう袋は高槻市のように業者に製造依頼するところや、役所の職員自らがつくるところがあるという。

2014年に導入された同社の地元である高槻市に設置する土のう基地は68基。近隣の大阪府の茨木市や島本町などでも一部採用されている。現在、同社は高槻市の業務委託契約先として定期巡回や補充、回収、掃除などのメンテナンスを担う。

他の自治体では1袋20キログラムで用意するところもあるが、同社の土のうは女性や高齢者でも持ち運びやすいよう、10キログラムで統一する。

今回の地震で、高槻市内で土のう袋は「約7000袋が屋根のシート止めに使われたと聞いている」（谷部長）。6月18日の地震発生後、2日間で同社社員が巡回し、土のう基地に急ぎよ約1200袋を補充した。谷部長は「巡回した社員は、近隣住民の方から『ありがとう』と声を掛けていただき、仕事にやりがいを感じたようだ」と目を細める。

大阪では、観測史上初となる震度6弱を記録した大阪北部地震から約2週間が経過。震源地に近い府北部では今も、ブルーシートが屋根に掛かったまま生活を続ける人がいる。本来の使用目的からは違えど、土のうは縁の下ならぬ“屋根の上”から被災地を支える。

(2018/7/4 05:00)

新聞購読を申し込む

電子版を申し込む



安全・安心に貢献する セキュリティ



ようこそ、
(ログイン中)

[ログアウト]

無料登録会員

今月の閲覧済み 1本 (残り10本)

※有料会員限定記事を月11本まで閲覧できるなど、一部機能をご利用いただけます

マイページ | マイニュース | マイクリップ
総合ガイド | アイコンについて

電子版有料購読の申し込み (月額: 4,000円+税)

電子版からのお知らせ >

日刊工業新聞社からのお知らせ >

カレンダーから探す

6月	2018年07月 ▼						
日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

閲覧ランキング 今日 今週

1位: 電子部品、クルマに軸足 “脱スマホ”最終局面

2位: 研究開発の特許費用、「直接経費」に 文科省が運用変更

つながることで新たな価値を
CONNECTED
— 中小企業が明日を創る! —

中小機構

新価値創造展2018

第14回 中小企業総合展 東京

11.14(金)-11.16(日) 10:00-17:00
東京ビッグサイト 東2・3ホール

出展者募集中